むすびり

2016年 153号

般社団法人高知県労働者福祉協議会機関紙 高知市本町4丁目1-32 こうち勤労センター内 TEL 824-3583 FAX 875-4887 E-mail kochirf@shirt.ocn.ne.jp ホームページ http://www.roufuku.com 発行責任者 折田 晃一



旧北海道庁舎

全国研究集会を開催 …… 地方労福協会議を開催 …… (2016生活底上げ福祉強化キャンペーン) …… こうち勤労センターの消防訓練実施 ※写協研修会予生 ◎主な内容 * * 佐藤 寿洋 塩谷 直路 全労済 * *

「あらゆる世代・層に広がる格差と 貧困を解消するために」をテーマに



■ 2016 年度全国研究集会を開催

2016年9月8日(木)~9日(金)、北海道札幌市「札幌グラン ドホテルトで、全国 47 都道府県の地方労福協、事業団体、労働団 体他300名の参加で高知県労福協より5名が参加しました。

開催にあたって、中央労福協神津里季生会長、開催地の北海道 労福協の工藤和男会長、開催地の高橋はるみ北海道知事の挨拶が あり講演に入りました。



「孤立と困窮を生まないまちづくり"支え合い"を支える」

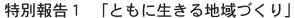
中央大学法学部 宫本太郎教授

- (1) 「孤立と困窮の広がり 今起きていること」
- ② 「新しい保障のかたち支え合いの場の構築」

「全世代に広がる貧困と生活困窮者支援」 講演 Ⅱ

NPO法人ホットプラス代表理事 藤田孝典氏

生活困窮者支援活動から見えてきた課題について講演ならびに 問題提起を受けた。



ワーカーズコープ北海道事業本部 佐々木あゆみ事務局長

支援する側・支援される側誰もが支え合える地域づくりの必要性について問題提起がされた。



特別報告2 「ひとり親家庭の現状と活動から見える社会的問題 ~あなた の隣にある貧困~

しんぐるまざーず・ふぉーらむ北海道 平井照枝代表

日本における子ども・ひとり親家庭の貧困状況について、現在の傾向をわかりやす く説明があり、ひとり親家庭の貧困の要因と課題について問題提起がされた。

■パネルディスカッション

THE KARA

「若者をはじめとする"貧困の世代間連鎖"を断ち切るため、いま私たちにできること!」

パネラー 藤田孝典氏: NPO法人ほっとプラス代表理事

山崎俊一氏:北海道教職員組合中央執行委員

石田輝正氏:連合 非正規労働センター局長

山田太郎氏:新潟県労福協専務理事

コーディネーター 花井圭子中央労福協事務局長

各パネラーから報告がされ、それぞれの報告に対して、藤田氏から

コメントや問題提起を受け、各世代・層におけ

る格差や貧困の実情が氷山の一角にすぎないという現実を受け止め、いま私たち にできることは何か?についてディスカッションを行い、行政(自治体)・学校現 場・職場・地域それぞれの現場でできることを考える良い機会となりました。

最後に花井事務局長から、「行政・自治体だけでなく、さまざまな団体が日々困

窮支援に奮闘しているが、どうしても行政の縦割りでの対応となってしまっている。我々が地域の縦と 横の糸を繋ぐ"かすがい役"とならなければならない。」とのまとめで締めくくった。







2016年度 第2回地方労福協会議を開催



9月7日、第2回地方労福協会議を57名の参加で札幌市「札幌グランドホテル」にて開催し、冒頭、 黒河悟副会長から奨学金の無利子利用資格がありながら予算不足で利用できない残存適格者2万4 千名の存在に触れ、秋からの取り組みがきわめて

重要であり活発に

踏み出すための会議にしたいとの挨拶があった。

意見交換では、日本学生支援機構本部との会談内容、賛同団体の具体的方法、最低賃金引上げに関する労働団体との役割分担や公契約条例制定との関係などについて意見が交わされた。

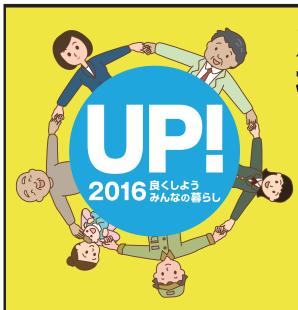




特別報告として、日本退職者連合の林道寛副事務局長より「地域における連携強化に向けて」と題して、労働者自主福祉運動との連携強化を方針化し、6県のライフサポートセンターで退職者連合が協力している現状が報告され、これからも元気な高齢者の力を活かしてほしいと力強く呼びかけがあった。

今秋の主要課題である「2016 生活底上げ・福祉強化キャンペーン」 「奨学金問題改善に向けた第3ステージ」の2点の具体的な進め方に

ついて意見交換し、全国で取り組みを進めることを確認した。



2016 生活底上げ (編集) 福祉強化キャンペーン

- 次世代を担う若者を追い込む雇用劣化と "奨学金制度"の改善を実現しよう!
- 生活・就労支援を強化し、 生活困窮者を地域で支えよう!
- みんなで労働者福祉事業を利用し、 共助の輪を地域に広げよう!



高知県労福協(高知県労働者福祉協議会)



こうち勤労センターの消防訓練実施

□火災発生による避難訓練実施

10月18日、こうち勤労センターで消防法に定められた消防訓練で 火災による避難訓練を参加者 15 名にて実施しました。

午後3時、3階の共用部分の喫煙所から出火したとの想定で、館内 の火災報知ベルを発報し、第一発見者が初期消火に努めるとともに 119番通報、館内の参加者が1階へ避難する訓練を実施しました。

その後消防署の職員より、避難時の注意事項・非常口通路表示等説 明がありました。





避難訓練終了後7階エレベー ター前にて消火栓の取り扱いにつ

いて説明を受け、屋上にて消火器 (訓練用水消火器) の模擬訓練、消 火栓の放水模擬訓練を実施しまし た。今回初めて消火栓の放水模擬

訓練を行い、参加者の皆さんは放水の威力を感じたことと思います。







2016年度高知県労福協研修会

2017年1月21日(土) 午後1時半より 時 В

場 高知会館 所

講 高知市防災対策部 師

容 「南海トラフ地震に備えて| 内

~こんな場合はどうする!?

具体的なケーススタディを通じて、しっかり考えよう!~

乞うご期待

学金問題相談員養成研修会開催



9月26日に東京の連合会館にて第2回奨学金問題相談員養成研修会が開催された。今年で2 回目となる本研修会には、全国からライフサポートセンター相談員や地方労福協の奨学金担当 者、労働組合など様々な団体から32名の参加があった。

講師は奨学金問題対策全国会議事務局長の岩重佳治弁護士。講義の前半では奨学金問題の現



状と課題について説明があり、相談現場から見える 奨学金の問題点や、来年度から導入予定の所得連動 返済型奨学金制度の問題点など、様々な事例が紹介 された。

後半では、実際にあった事例を中心に奨学金が返 せない場合の債務整理の方法など、相談員に必要な

専門知識を学んだ。

最後の質問の時間では、「債務整理に必要な費用」や「個人信用情報機関への登録」について <mark>など様々な質問があった。受講者からは、「具体的な事例があってわかりやすかった」「今後の</mark> 相談活動の参考になったしなどの声があり、有意義な研修会となった。



給付型奨学金制度の導入・拡充と 教育費負担の軽減を!・ 賛同人募集中・

今や大学生の2人に1人が、何らかの「奨学金」を利用しています。 卒業と同時に数百万円の借金を背負い「返したくても返せな い」人たちが年々増加しています。

このままでは、奨学金返済(借金)の重荷で、結婚や出産、子育 ても困難になり、少子化・人口減を更に加速しかねません。

未来を担う若者を社会全体で支え、持続可能な社会にするため、 1日も早い給付型奨学金制度の実現と教育費負担の軽減を求 めて声をあげましょう!

みんなで声をあげよう! 2016 生活底上げ・福祉強化キャンペーン



高知県労福協

2016年度西部労福協

『第4期 労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座』に参加して

連合高知 岡林 ゆり

これまで何となく知っていた「労働金庫」「全労済」の歴史・生い立ちを改めて学ぶことにより、労働者のための銀行、労働者の共済であることを波及させていくことが重要であると感じました。そして、"良さ" "メリット"を伝え、若い方に運動をどのように伝えていくか考えさせられました。

また、職場では必要以上に自己責任・成果主義・自立が 強調され、支え合う仲間の連帯が分断され、人間関係が希 薄化し社会が劣化している今こそ、労働者自主福祉運動(労



働者の労働者による労働者のための運動)における地域での重要性を感じました。

そして、連合が提起している「働くことを軸とする安心社会の実現」には、組合員相互の共助活動、 労働組合に組織されていない労働者、子ども、高齢者などとの連帯が重要であると再確認しました。

四国労働金庫高知支店 佐藤 寿洋



「第4期労働者福祉運動の歴史・理念・リーダー養成講座」に参加させていただきました。二日間に亘って、労働者福祉運動に関する講座を二つ、日本経済に関する講座が一つ、最後に組織ごとに分かれた分科会で意見交換という日程でした。

労働金庫や全労済の成り立ち、歴史的背景については 何度か講座を受けたことがあり知識としてはありました が、今回、労働運動の面から労金を捉えることで労金の 役割や理念を再認識する良い機会となりました。

今回の講座を受講し改めて、労働金庫職員として労働運動・労働者自主福祉運動の歴史や労働金庫の成り立ち、会員様の歴史と現状をさらに深く学び、身に付けていかなければならないということや、労福協運動等を通じて地域社会とのつながりをより大切にしなければならないということを痛感しました。今後も「金庫」職員である自覚を忘れずに会員の役に立てるよう努力を続けたいと思います。

『第4期 労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座』を受けて

全労済高知県本部 塩谷 直路

『第4期 労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座』では、労働者福祉団体である労働金庫・ 全労済がどのような経過・目的でつくられた組織であるのかを学べ、労働者福祉団体で働く職員として 日ごろの活動を振り返り、全労済という組織が今あることについて考えさせられ、大変有意義な学習の 場になったと感じました。

日ごろ「全労済の成り立ち」や「共済と保険の違い」について、協力団体の研修会や説明会で話しを していますが、過去の具体的なエピソードを交えて説明されるにあたり、その言葉の本質や重みを再認 識できました。

当時を体験していない私たちが労働者福祉運動の理念 を伝えることは難しいことであると思いますが、この運 動を途切れさせることなく、永続的に引き継がせるため には、労働者福祉団体で働く私たち職員がしっかりと認 識・共有し、外に発信し共感を広げていくことが大事で あり、その活動をしていくことが私たち職員の役目であ ると感じました。





労働者福祉事業を活かし、 共助の輪を地域へ広げよう!

協同事業の利用を広げ、仲間の助け合いや、 地域や社会のために活かしていこう!

自主福祉事業は労働運動みずからが生んだ労働運動の基盤 です。労働組合と協同組合(ろうきん・全労済)は、仲間同士 のたすけあい・連帯などの価値観を共有しています。

ともに地域と働く者の未来をつくりましょう!



何かあったときはお互いさま! > 2016 生活底上げ・福祉強化キャンペーン



のご案内

十曜日も、日曜日でもOK!

-ンのことをじっくり相談したいというお客さまの声にお応えするため、 平日はもちろん、休日にも相談会を実施しています。

平日 10:00~18:00 土・日曜日 10:00~17:00

088-825-231

高知勤労センタービル 6F 高知ローンセンタ・ 高知県庁 高知城前

■休業日/ 每週水曜日·祝日 (土・日曜日が祝日の場合は営業いたします。) 年末年始(12/31~1/3)

様々なご相談にお応えできるよう、各種ローンを取り揃えております。

住宅ローン(他金融機関借換えも)

カーローン

教育ローン

カードローン他



水曜日の時間延長や「日曜相談会 | 店舗も! 下記5店舗にて、毎週水曜日ご相談窓口を<mark>時間延長</mark>して実施中!

毎週水曜日■

(※水曜日以外の平日は通常営業時間「9:00~15:00」です)

高知支店 ☎ 088-823-4311

25 0880-34-3210 中村支店

安芸支店 **20887-34-0131**

高知東支店 **25** 088-885-2222

南国支店 ☎ 088-863-1411

※南国支店の水曜日時間延長は2016年10月までとなります

南国支店は、 毎週日曜日 を開催! $0.00 \sim 17.00$

※須崎支店、および南国支店(11月以降)の平日営業時間は、通常営業時間(9:00~15:00) となります。なお、全店舗とも、通常営業日、または水曜日以外について、時間外でのご相談のご希望 がございましたら、事前にご連絡の上、ご相談ください。(※休業日:土・日曜日、祝日、12/31~1/3) ※くわしくは、お近くの〈ろうきん〉各店舗にお問い合わせください。



ZENROSAI NEWS

九州地方を中心とした「台風16号災害」への対応報告

鹿児島県大隅半島に上陸した後、高知県室戸岬付近を通過し、その後和歌山県に再上陸した台風 16 号は、日本各地に大雨と強風による住宅の損壊を多数発生させました。

特に、鹿児島県と宮崎県に多くの被害が集中し、全労済にも3,000 件を超える被災のご連絡がありました。

こうした状況を受けて全労済では、一日も早い調査の完 3と共済金のお支払いに向けて、災害発生の一週間後には、 西日本域内の各県本部から鹿児島と宮崎に調査要員を動員 し、高知県本部からも、9月28日より2名の調査要員を 鹿児島に継続的に派遣してきました。



高知県内の被害に対する対応としては、台風接近前から協議を重ね、多数の被災受付があった場合に備え体制を整えてきました。県西部と東部を中心に9月末までの受付件数は40件強となっており、台風通過の翌日から調査活動を開始して早期の対応をはかりました。

協力団体・組合員様へのお願い ~大規模な災害時~

台風や地震などの大規模な被害が発生する災害の場合、短期間に多くの被災受付が集中するため、調査にお何いするまで日数を要する場合があります(受付件数によっては2週間以上かかることもあります)。調査日までに修理するときは、修理前の写真と見積書をとっておいてくださいますようお願いします。

く参考資料>

「上陸数が多い都道府県」*気象庁ホームページより

順位	都道府県	上陸数
1	鹿児島県	39
2	高 知 県	26
3	和歌山県	22
4	静岡県	19
5	長 崎 県	16
6	宮崎県、愛知県	12
8	熊本県、千葉県	8
10	北 海 道	6

「暮らし」の備えと、「保障」の備え

過去のデータを見ると、高知県は鹿児島県 に次いで台風の上陸が多い県です。しっかり と台風に備えるようにしましょう。

また、近年では突風や竜巻による被害も多く発生しています。突風や竜巻は予測が困難ですので、日頃からの備えが大切です。



下回ったう法律違反!

最低賃金は、法に基づいて国が定める賃金の 最低額です。給料が最低賃金を下回る場合に は、その差額を請求することができます。

毎年、見回されます!

派遣先の最低賃金を適用!

派遣で働く方には、派遣元ではなく、派遣先 の地域の最低賃金が適用されます。

潤極勤務は25%アップ!

深夜勤務の場合には、深夜割増25%が加算 されます。この他、時間外割増や休日割増が あなたの街高知県 地域別最低賃金は

午後10時~午前5時に 勤務する場合 深夜割増25%が加算 894時

2016年10月16日~



おかしいな?と思ったら「なんでも労働相談ダイヤル」へ

00 0120-154-0



日本労働組合総連合会高知県連合会(連合高知) http://www.rengo-kochi.ip/

連合高知

若者の学びと成長 一会全体でもえん





給付型奨学金の創設等を求める署名は303万筆を超え、政府も 検討に向けて動き出しました。少しでもいい内容で実現できる よう、みんなで声をあげ、奨学金制度を変えていきましょう!

- 貸与から給付へ ~本来の奨学金に~ 速やかに大学生を対象とした給付型奨学金を創設 し、将来に向けて拡充しよう!
- 2 有利子から無利子へ 有利子から無利子への流れを加速し、無利子奨学 金を大幅に拡充しよう!
- 3 学費を含めた教育費負担の軽減 大学等の学費の引き下げや授業料減免の拡充を!
- 当事者の声を反映したよりよい制度へ 奨学金の制度設計や運営への当事者・利用者の参 画、情報公開の徹底

あなたの声を聞かせてください!

奨学金の利用者(学生)、返済者、お子さんが奨学金を利用されている方など、奨学金について 感じていること、困っていること、制度改善への要望などを、お聞かせください。

「奨学金に関するアンケート調査」 記入意見より

- •出産・子育て中で仕事をしていなかった ため返還が滞り大変だった。 29歳女性・非正規(奨学金利用者)
- 有利子である理由がわからない。公的機 関なら無利子で貸すのが存在意義では? 21歳男性·正規(奨学金利用者)
- 日本育英会のイメージしかなかったの が、現実を知るにつれ、社会的なものとし て促えていかないと、貧困・格差をさらに 助長していくのではと危惧する。 58歳男性・正規(奨学金利用者)
- 自分に奨学金という借金がある以上、結 婚できない。(配偶者に借金を背負わせること になるので…) 26歲女性·正規
- 借りた時は働いて返済できる予定だった が、現実はシングルマザーで幼児をかか え、正職員の道はなく少ない収入で将来 25歳女性・非正規

差し支えなければお書きください。・・・・・・

都道府県:

年齡:

歳 性別: 男・女 職業:

(正規·非正規)

FAXでお送りください

FAX: 03-3259-1286

あなたのご意見をホームページなどで公表してよろしいでしょうか

□YES

□NO

ホームページでも受け付けています

〇 労働者福祉中央協議会 〒101-0052 東京都干代田区神田小川町3-8 中北ビル5階 TEL:03-3259-1287

中央労福協



本当にこれでいいの? 日本の奨学金

大学の学費の高騰と家計収入の減少により、奨学金に頼らな ければ大学に進学できない学生が半数を超えるようになりま した。卒業しても、不安定な雇用で充分な収入が得られず、奨 学金を「返したくても返せない」人たちも増加しています。

社会人としてのスタートラインから数百万の借金を背負うの は、大変な重荷です。進学を諦めたり、返済が負担になって結 婚や出産をためらわせる要因ともなっています。これは、本人 だけでなく、社会にとっても大きな損失です。

貧困の連鎖を絶ち、教育の機会均等を実現するとともに、少 子化・人口減に歯止めをかけて持続可能な社会にするために も、奨学金問題の早急な改善が必要です。

可能性を広げるはずの奨学金なのに…

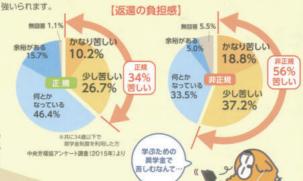


金に頼らなければ進学できない





返還が「苦しい」とする人は全体で4割弱、非正規労働者では56%と半数を超えてい ます。また年収300万円未満では5割前後、借入額500万円以上では6割の人が「苦 しい」と回答しています。低賃金・不安定雇用が続く現在の社会では、苦しい返済を



返済が結婚や出産などにも

20~30代前半では、奨学金返済が生活設計に影響しているとの回答 が、いずれも2~3割に達しています。若い世代ほど影響度が高く、将来 への見通しが立ちにくくなっています

【奨学金返還による生活設計への影響】 専奏(2015年)より 影響している 31.6%





このままでは

更なる

奨学金

返済





奨学金



個人の努力だけでは、もう限界。